NIE実践報告

1．タイトル：**人権学習と新聞づくり**

2．学校名

島根県出雲市立浜山中学校

3．実践者名（代表者名）

多久和　祥司

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間

6．単元（本時の学習課題）名

人権と医療・異文化・福祉・食

7．目標(狙い)

人権という視点から医療・平和・福祉・食について取材して記事を書く

8．評価の視点

取材相手から聞きたいことを聞き出し、記事にまとめることができたか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

社会科（公民分野）と総合的な学習の時間をリンクさせて、人権学習を行う（社会科8時間、総合11時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①ガイダンス（1時間）
②社会科で人権学習（8時間）・・・人権に関する新聞記事を使う
③コース別に調べ学習（3時間）
④取材（3時間）
命コース・・・出雲市内の医療現場　食と農コース・・・木次乳業、市内農家
福祉コース・・・障がいを持ちながらボランティア活動を続ける人
平和・異文化コース・・・国際結婚をした夫婦
⑤原稿書き（2時間）
⑥新聞作品の読みあい（2時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

①人権を具体的な問題を通して考えることができた。また人権を考える様々な視点を獲得した。
②自分の意見に多くの人たちから感想が返ってきたことで学ぶ意欲をかき立てられた。

12．成果と課題

①新聞記事を書くという活動を１年生から積み重ねてきたので、文章力が著しく向上した。
②現場取材という方法により生徒の学習意欲や思考力を高めることができた。
③読者からの返信や地域の人々からの反響が生徒の学習意欲を高めた。
④国語科でも新聞を活用した授業を行ったが、他の教科・領域にも広げていきたい。